

学長定例記者会見要項

日 時： 平成30年6月21日（木） 11:00～11:45
場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

発表事項

1. 男女共同参画フェスタ2018を開催します
2. 「山形大学 Venture Café advised by Venture Café Tokyo」を初開催
3. 弓道部が東北地区大学体育大会で男女ともに優勝
4. 第8回安達峰一郎記念世界平和弁論大会を開催します
5. x EV飯豊研究センターに係る事案について

お知らせ

1. 下水処理水を利用した水稻栽培研究で2度目の技術開発賞
～土木学会東北支部から近年3年で2回目の受賞～
2. 農学部で「農場市」がスタートします！

（参 考）

- 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：平成30年7月5日（木） 11:00～11:45
場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

学長定例記者会見（6月21日）発表者

1. 男女共同参画フェスタ 2018 を開催します

学術研究院 准教授（山形大学男女共同参画推進室長） 井上^{いのうえ} 榮子^{えいこ}

2. 「山形大学 Venture Café advised by Venture Café Tokyo」を初開催

国際事業化研究センターコーディネーター 猪井^{いのい} 隆之^{たかゆき}

理学部 2年 村上^{むらかみ} 和隆^{かずたか}

3. 弓道部が東北地区大学体育大会で男女ともに優勝

工学部 4年 佐藤^{さとう} 健伍^{けんご}

工学部 3年（統合主将） 松尾^{まつお} 陸^{りく}

地域教育文化学部 3年（女子主将） 穴戸^{ししど} 奈緒^{な お}

4. 第8回安達峰一郎記念世界平和弁論大会を開催します

学術研究院 教授（山形大学都市・地域学研究所代表） 松尾^{まつお} 剛次^{けんじ}

5. xEV 飯豊研究センターに係る事案について

学長 小山^{こやま} 清人^{きよひと}

平成30年（2018年）6月21日

山形大学男女共同参画フェスタ2018を開催します

【本件のポイント】

- 男女共同参画週間にあわせ、6月25日(月)～7月17日(火)に山形大学男女共同参画フェスタ2018として、男女共同参画セミナー及びパネル展を開催します。
- セミナーは、大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」の設立キックオフ・セミナーとしても位置づけており、広域ネットワークの重要性をテーマに岩手大学副学長菅原悦子氏にご講演いただきます。



【概要】

男女共同参画週間に合わせ、6月25日(月)～7月17日(火)の期間、山形大学男女共同参画フェスタ2018を開催します。期間中は、男女共同参画セミナーと2つのキャンパスでパネル展を開催します。今回の男女共同参画セミナーは、大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」の設立キックオフ・セミナーとしても位置づけており、7月2日(月)に開催。広域ネットワークの存在が地域の男女共同参画に果たす重要性をテーマに、「いわて女性研究者支援ネットワーク」・「北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議」に取り組んでいる岩手大学から副学長を講師にお迎えします。また、女性研究者の活躍促進を図るために山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学の3機関が、平成27年度から取り組んでいる文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の事業報告も行います。

【山形大学男女共同参画フェスタ2018】

1. 男女共同参画セミナー ～男女共同参画推進におけるネットワークの重要性～

今年度の男女共同参画セミナーは、広域ネットワークの存在が地域の男女共同参画に果たす重要性をテーマに、「いわて女性研究者支援ネットワーク」・「北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議」に取り組んでいる岩手大学から副学長を講師にお迎えします。

日時：平成30年7月2日（月）15：10～17：00

場所：山形大学小白川キャンパス事務局棟第1会議室・各キャンパスTV会議室

内容：(1)「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」事業報告(※)

(2) 講演会（岩手大学副学長 菅原悦子氏）

「大学における男女共同参画の推進と広域ネットワークの重要性について」

(3) 大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」報告

申込：FAX、電話、メールで申込み（参加無料、当日参加も可能）

2. パネル展

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの取組、研究シーズ集、LGBT など

小白川キャンパス：6月25日(月)～7月3日(火) 学生会館1階

米沢キャンパス：7月9日(月)～7月17日(火) 4号館1階

【大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」について】

平成30年4月1日、山形県内の14高等教育機関が連携してダイバーシティの推進を図るため、「大学コンソーシアムやまがた」（県内の大学等高等教育機関が会員）に「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」が設立されました。活動内容は、ダイバーシティに関する情報共有、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の公開事業への参加、地域連携などです。上記男女共同参画セミナーは、キックオフ・セミナーとなります。

※ 山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学の3機関は、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」に平成27年度に採択され、女性研究者の活躍促進を図るために各種の事業を連携して展開しています。昨年度末の中間評価では、総合評価Aという結果を得ています。

お問い合わせ・お申し込み

男女共同参画推進室

Tel : 023-623-4937/4938/4939 Email: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：文部科学省 科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）

山形大学・大日本印刷株式会社研究開発センター・山形県立米沢栄養大学

共催：大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」

男女共同参画セミナー

大学コンソーシアムやまがた「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」設立
～キックオフ・セミナー～

大学における男女共同参画の推進と広域ネットワークの
重要性について

講師

菅原悦子氏

岩手大学理事・副学長、男女共同参画推進室長

対象

研究者、教職員、高等教育機関・自治体・
企業の管理職、関心のある方どなたでも

日時

平成30年7月2日(月) 15:10～17:00

場所

山形大学小白川キャンパス 事務局棟第1会議室（3階）

TV会議配信

飯田キャンパス：第2会議室

米沢キャンパス：講義棟3階会議室

鶴岡キャンパス：TV会議室

※申込みがない場合には配信中止となりますので、ご了承ください。

申込みは電話・FAX・メールおよびWEBで受け付けております



託児あり

託児の希望は申込時にお知らせください

山形大学男女共同参画推進室

TEL 023-628-4938・4939 y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学 ダイバー

検索

Click!



Copyright © 2018 Yamagata University. All rights reserved.

男女共同参画セミナー

大学における男女共同参画の推進と 広域ネットワークの重要性について

山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学は、文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (連携型) に採択され、連携して女性研究者の活躍推進を図るため、各種の事業を展開しています。

このたび、事業の一層の理解と活用促進を図ると共に、研究及び職場環境におけるダイバーシティの重要性を理解し、誰もが能力を発揮できる職場にしていくため、管理職セミナーを実施します。

また本セミナーは、大学コンソーシアムやまがたにおける「ダイバーシティ推進ネットワーク会議」設立のキックオフ・セミナーを兼ねております。

申込み
期限

2018年6月22日(金)

切り離し不要。このままお送りください。

申込書

FAX : 023-628-4014

連絡先等をご記入ください。 ※選択項目はレ点をご記入ください。

お名前				
所属先				※学生のみ 学年 ()
電話番号				
Eメール アドレス				
参加を希望する会場を選択してください (複数選択可)				
7/2 (月)	<input type="checkbox"/> 小白川 (現地)	<input type="checkbox"/> 飯田 (TV会議)	<input type="checkbox"/> 米沢 (TV会議)	<input type="checkbox"/> 鶴岡 (TV会議)
【託児希望】 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
託児を希望される場合は、6月15日までにお知らせください。 別途、託児に必要な情報を確認させていただきます。				

※ご記入いただいた個人情報は、厳密に管理し、他には一切使用いたしません。

問合せ・申込みはコチラ

電話・メール
受付OK!

山形大学男女共同参画推進室
TEL 023-628-4939・4938 FAX 023-628-4014
Email y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成30年（2018年）6月21日

「山形大学 Venture Café advised by Venture Café Tokyo」 を初開催

【本件のポイント】

- 学生・県内企業・起業家・ベンチャー企業・投資家等が集うコミュニケーションの場を作るために、Venture Café TokyoのThursday Gathering のエッセンスを入れたイベントを山形大学でも開催します。
- 山形大学が4大学合同で取り組む、「EDGE-NEXT」起業家人材育成プログラムの一環として、学生主導で運営を行います。

【概要】

4月から山形大学 EDGE-NEXT 人材育成プログラム※を本格稼働しました。そのプログラムの一環として、「山形大学 Venture Café advised by Venture Café Tokyo」を山形で初開催します。
Venture Café（ベンチャー・カフェ）※は、イノベーションの第1歩目を踏み出す支援のためにアメリカで設立され、プログラムやイベントを通じてイノベーター同士を結びつける活動をしている組織で、世界6拠点で活動が展開されています。

今回の山形でのイベントは、その取り組みに倣って企画したもので、学生と県内企業・起業家・ベンチャー企業・投資家等が集いコミュニケーションを行うことで、世界の変革を促すイノベーションを創出するための場を提供していきます。

山形からイノベーションを起こしていくこのイベントを学生主導で開催、運営を行っていきます。

【第1回 山形大学 Venture Café advised by Venture Café Tokyo】

日時：2018年7月6日（金）18:30-20:00

会場：山形テルサ 大会議室

内容：別紙、チラシ参照

・オープニング 18:30

・特別ゲスト：山川 恭弘氏

（バブソン大学アントレプレナーシップ准教授/ベンチャー・カフェ東京代表理事）

・ビジネスピッチ：山形県内の大学生によるビジネス提案を予定

・ネットワーキング：ドリンクを飲みながら、コミュニケーションを実施。

・エンディング 20:00

参加者：100名程

参加費：無料



（参考）Venture Cafe Tokyo <https://www.facebook.com/VenCafeTokyo/>

※ Venture Café（ベンチャー・カフェ）とは？

2009年に米国ボストンで設立された組織で、起業家や投資家、研究者が集い、つながる“場”を提供し、毎週木曜日にイノベーションにつながるイベントを開催。ボストンの他、マイアミ、ロッテルダムなど世界の都市で展開している。

今年3月には、Venture Café Tokyo(ベンチャー・カフェ東京)として日本に進出。毎週木曜日に虎ノ門ヒルズカフェにて「Thursday Gathering（サーズデー・ギャザリング）」を開催中。

※ 山形大学 EDGE-NEXT 人材育成プログラム

文部科学省平成 29 年度次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT) に、早稲田大学を主幹校とし、滋賀医科大学、東京理科大学、山形大学を協働機関、多摩美術大学、富山県、株式会社本田技術研究所、一般財団法人大川ドリーム基金ら 31 機関を協力機関とするコンソーシアム「EDGE-NEXT 人材育成のための共創エコシステムの形成」が採択されました。本コンソーシアムでは、EDGE プログラムでの成果を基盤に、参加機関の強みや国内外の産学官の英知を結集して、専門的基礎能力を有し、鋭利な発想、体系的な方法論により新たな市場を開拓します。「グローバルリーダー」、「地域貢献」を体現するアントレプレナー人材のすそ野拡大に向けた「Future-EDGE 人材」と、実際の起業・新規事業創出に向けた「EDGE-NEXT 人材」を文理融合で養成します。

山形大学では、現在 起業家育成教育プログラム (実践編・基礎編)、地域連携起業家育成教育、英会話研修やプログラミング教室などを実施しています。

お問い合わせ

山形大学国際事業化研究センター長 小野寺忠司

Tel. 0238-26-3025 Mail: tonodera@yz.yamagata-u.ac.jp

山形大学 Venture Café

advised by Venture Café Tokyo



Presented by Yamagata Univ.

Business Research Institute for Glocal Innovation

日時：2018.7.6 18:30-20:00

会場：山形テルサ 大会議室

山形市双葉町1-2-3

Tel. 023-646-6677

申込先:

<https://iomform.yz.yamagata-u.ac.jp/form/event-entry.cgi?p=12>



主催：山形大学 国際事業化研究センター

Tel. 0238-26-3025

E-mail: yu-edge@yz.yamagata-u.ac.jp



山形大学 EDGE-NEXT information

<https://www.facebook.com/groups/YUEDGENEXT.info/>



平成30年（2018年）6月21日

弓道部が東北地区大学体育大会で男女ともに優勝

【本件のポイント】

- 東北地区大学体育大会弓道競技で、男女ともに団体優勝を飾りました。（開催は男子5月18日(金)～20日(日)、女子6月8日(金)～10日(日)）
- 4月14日(土)に開催された東北学生弓道大会男子の部で39大会ぶりの団体優勝を飾ったほか、4月21日(土)開催の女子の部では個人での優勝、準優勝。
- 6月23日(土)から東京で開催される第30回全国大学弓道選抜大会男子の部に出場する。



【概要】

山形大学弓道部が、東北地区大学体育大会弓道競技（開催は男子5月18日(金)～20日(日)、女子6月8日(金)～10日(日)）で、男女ともに団体優勝を飾りました。今年は、4月の東北学生弓道大会でも、39大会ぶりに男子が団体優勝、女子も個人で優勝、準優勝の好成績を残しました。
これら大会のほか、記録会でも好成績を上げており、6月23日(土)から東京で行われる第30回全国大学弓道選抜大会に向けて、日々練習に励んでいます。

【大会成績】

平成29年(2017年)第57回東北地区秋季学生弓道大会リーグ戦（10/20～10/22）

Ⅱ部リーグ戦 男子団体優勝（第30回全国大学弓道選抜大会への出場決定※）

平成30年(2018年)第57回東北学生弓道大会（男子4/14、女子4/21）

男子の部 団体優勝 ※優勝は第18回大会以来

女子の部 個人優勝 宍戸奈緒（ししどなお／地域教育文化学部3年）

〃 準優勝 小原 涼（おばら りょう／工学部2年）

第69回東北地区大学体育大会弓道競技（男子5/18～20、女子6/8～10）

男子の部 優勝 ※優勝は、第54回大会以来

女子の部 優勝 ※優勝は、第34回大会以来

【山形大学弓道部】

男女あわせて約30人が小白川、米沢、鶴岡の3キャンパスで活動しています（鶴岡キャンパスには弓道場がないため、活動拠点は市立朝陽武道館）。平日はそれぞれのキャンパスごとに活動し、土曜日に小白川キャンパスで合同練習を行います。岡崎廣志範士と、平成29年からは秋野與博コーチの指導を受け、力をつけてきました。今月出場する全国大学弓道選抜大会以外にも、これから全国大会が控えているので、良い成績を上げられるよう、日々練習に励んでいます。

また、昨年の秋には、東北地区秋季学生弓道大会リーグ戦で男子がⅡ部優勝を果たしましたが、入れ替え戦で悔しい敗戦を喫しました。今年は、Ⅰ部昇格を目指しています。

※ 大学弓道の試合では基本的に男子は8人1チーム、各自20射計160射、女子は3人1チーム各自12射計36射で試合を行い、総的中が多いチームが勝利となります。秋のリーグ戦ではこの試合形式によって各部（3～4大学）総当たり戦で試合を行い、勝ち数によって順位が決定します。リーグ戦終了後は各部の優勝校と最下位の大学が上位・下位リーグとの入れ替え戦を行います。全国大学弓道選抜大会は、リーグに関わらず、参加したすべての大学のうち、的中率上位2校が出場できる大会です。山形大学（男子）はⅡ部リーグではありますが、Ⅰ部の大学よりも的中率が高かったため全国大会への出場が決定しました。

お問い合わせ 山形大学広報室
TEL 023-628-4008 メール koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成30年（2018年）6月21日

第8回安達峰一郎記念世界平和弁論大会を開催します

【本件のポイント】

- 山辺町が産んだ世界的偉人「安達峰一郎」の平和の精神を受け継ぐ弁論大会を山形大学都市・地域学研究所と山辺町が企画。
- 中・高校生が平和の精神を受け継ぐ意義などについて考える機会を提供し、平和の精神の具体化の重要性を安達峰一郎の出身地山形から世界に向けて発信。
- 山形大学学生も大会運営に参加します。



【概要】

山辺町が産んだ世界的偉人「安達峰一郎」(1869-1934年)の平和の精神を受け継ぐ弁論大会として、山形大学都市・地域学研究所と山辺町が企画した「安達峰一郎記念世界平和弁論大会」を今年も開催します。

国家間の紛争を戦争ではなく、国際法によって解決する組織作りにその生涯を捧げ、「常設国際司法裁判所」の生みの親の一人となり、非戦の制度化・世界平和の組織化に尽力した安達峰一郎。中高生がその普遍的な意義に深く学び、平和の精神を受け継ぐことを考える機会とするとともに、平和の精神の具体化の重要性を安達峰一郎の出身地山形から世界に向けて発信します。第8回となる今回は、8月20日(月)から募集を開始。予選を通過した10名による本選(弁論大会)は、10月27日(土)に開催します。

【第8回安達峰一郎記念世界平和弁論大会】

- 主催：山形大学都市・地域学研究所、山形県山辺町及びNPO法人山形の魅力再発見プロジェクト
- 後援：文部科学省、外務省、山形県、山形市、長崎市、山形新聞・山形放送、河北新報社、朝日新聞山形総局、読売新聞山形支局、毎日新聞山形支局、株式会社テレビユー山形、ふすま同窓会
- 応募資格：全国の中・高校生（高等専門学校生の場合は3年生まで）
- 応募期間：2018年8月20日（月）～9月19日（水）（当日消印有効）
- 予選通過者発表：2018年9月27日（木）
- 本選弁論大会
開催日：2018年10月27日（土）13：00～17：30
場 所：山形大学小白川キャンパス

お問い合わせ

山形大学学術研究院 教授 松尾 剛次（山形大学都市・地域学研究所 代表）
TEL 023-628-4871 メール kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

第8回安達峰一郎記念世界平和弁論大会出場者募集要項

山形大学都市・地域学研究所と山形県山辺町は、下記の要領で「安達峰一郎記念世界平和弁論大会」を開催します。

【弁論大会の趣旨】

「安達峰一郎記念世界平和弁論大会」は、山辺町が産んだ世界的偉人「安達峰一郎」(1869-1934年)の平和の精神を受け継ぐ弁論大会として、山形大学都市・地域学研究所と山辺町が企画した記念行事です。この行事を通して、国家間の紛争を戦争ではなく、国際法によって解決する組織作りにその生涯を捧げ、「常設国際司法裁判所」の生みの親の一人となり、非戦の制度化・世界平和の組織化に尽力した安達峰一郎の普遍的な意義に深く学び、その平和の精神を受け継ぐことを中・高校生に考える場を提供し、平和の精神の具体化の重要性を安達峰一郎の生地山辺町から世界に向けて発信します。

【主催】

山形大学都市・地域学研究所、山形県山辺町及びNPO法人山形の魅力再発見プロジェクト

【名義後援】

文部科学省、外務省、山形県、山形市、長崎市、山形新聞・山形放送、河北新報社、朝日新聞山形総局、読売新聞山形支局、毎日新聞山形支局、株式会社テレビユー山形、ふすま同窓会

【弁論大会開催日】

2018年10月27日(土) 13:00~17:30

【弁論大会開催場所】

山形大学小白川キャンパス内

【応募者募集要項】

1. 応募資格 日本全国の中・高校生(高等専門学校生の場合は3年生まで)
2. 課題 「平和について」及び「自由課題」の作文
(各自で自由に題を付けてください)
中学生:400字詰め原稿用紙3枚以内、スピーチ5分以内
高校生:400字詰め原稿用紙5枚以内、スピーチ7分以内
3. 募集期間 2018年8月20日(月)~9月19日(水)(当日消印有効)
4. 応募方法 下記あて郵送(ファイルも)あるいはE-mailにて原稿(タイトル・学校名・学年・氏名を書くこと)を送付してください。
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学人文社会科学部内
山形大学都市・地域学研究所
E-mail: kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp
Tel/FAX 023-628-4871

【表彰者の選抜】

予選は、応募者から送られた作文の審査という形で実施し、審査委員会の審査によって、中学生部門と高校生部門それぞれについて、各部門で参加者10人を選抜します。予選上位通過者(高校生3名、中学生3名)で県外の方には上限5万円までの交通費を補助します。本選では、参加者に山形大学に来ていただき、スピーチをしてもらい、①最優秀賞、②優秀賞、③特選の各1人を選抜します。

予選結果については、2018年9月27日(木)までに山形大学都市地域学研究所HPにて発表致します。

【表彰】

本選（弁論大会）で最優秀賞、優秀賞および特選に選ばれた中・高校生には、各人に賞金（図書券）を贈呈します。

【優秀者のスピーチ】

予選で本選参加者に選ばれた中・高校生は、弁論大会で自分の作文をスピーチしていただき、それにより①最優秀賞、②優秀賞、③特選の各1人を選抜します。

【広報】

山形大学都市・地域学研究所ホームページ、公募ガイドおよび新聞にて案内します。

【注意】

- ①郵送の場合には、封筒の表に「弁論大会作文同封」と朱書きしてください。
- ②応募の際、以下の項目について記載したものもお送りください。
 - 1) 氏名、2) 性別、3) 学校名と学年、4) 自宅住所、5) 自宅電話番号あるいは携帯電話番号、6) メール・アドレス
- しかし、**1)～6)が無い場合は受け付けません**のでご注意ください。情報については、本研究所からの連絡のみに用い、他の用途に使用しません。
- ③原稿送付の費用は自己負担とさせていただきます。
- ④送付された原稿はお返ししません。**必ずコピーをとっておいてください**。また、著作権は当方に帰属し、文集に掲載する予定です。
- ⑤本選参加者の選抜は、審査委員会で行います。
- ⑥本選参加者に選ばれた中・高校生を弁論大会に来ていただき、スピーチによって最優秀賞、優秀賞および特選を選び表彰いたします。あわせて、賞金（図書券）を贈呈します。日程上等の都合で弁論大会に出席できない場合には、失格とします。
- ⑦弁論大会への一般の方の聴衆も受け付けます。（新聞等のメディアで告知します）。
- ⑧いただいた作品の中で優秀な作品（本選に出場できなかった作品も対象）については後日文集に掲載いたします。
- ⑨大会で撮影された映像は新聞・HP等で使用される場合がありますのでご了承下さい。

問い合わせ先

〒990-8560
山形市小白川町1-4-12
山形大学人文社会科学部内 山形大学都市・地域学研究所
Tel/FAX 023-628-4871（都市・地域学研究所）
Tel/FAX 023-628-4917（人文社会科学部松尾研究室）
E-mail : kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

※不在の場合がございますので、なるべくFAXかメールでの
問い合わせをお願い致します

〈スケジュール〉

原稿募集期間	2018年8月20日（月）～9月19日（水）
予選通過者発表	2018年9月27日（木）
本選（弁論大会）	2018年10月27日（土）

xEV 飯豊研究センターに係る事案について

1 当該事案に関する経過について

- ・平成 28 年 9 月
xEV 飯豊研究センターにおいて、職員から職場環境の改善についての相談があった。
- ・平成 28 年 10 月～11 月
同センターの管理責任者(米沢キャンパス長)から、全職員を対象に職場環境の在り方についての注意喚起を行ったほか、キャンパス担当理事からも重ねて注意を促した。
- ・平成 29 年 11 月 14 日
ハラスメントの証拠とされる画像が出てきたことから、特別対策委員会において調査を行うこととし、学外者を含む調査委員会を設置した。
- ・平成 29 年 12 月～平成 30 年 3 月
調査委員会において、相談者及び関係者に対する聞き取り調査を実施した。
- ・平成 30 年 4 月～5 月
調査委員会において、調査内容について検討を重ね、6 月 12 日に特別対策委員長へ調査報告書を提出した。
- ・平成 30 年 6 月 15 日
特別対策委員会において調査報告書を審議した結果、ハラスメントであると認定し、懲戒処分が相当との意見を付し学長へ提出することとした。
- ・平成 30 年 6 月 20 日
キャンパス・ハラスメント防止委員会委員長から学長へ調査報告書を提出した。
役員会において学長から調査報告書について報告があり、当該教員(学術研究院教授・50 歳代男性)の処分については、今後役員会において審議することとなった。

2 ハラスメントの認定について

当該教員の行為は、責任者たる地位を背景として、その業務の適正な範囲を超えて、職員に精神的苦痛を与え又は職場環境を悪化させるものとして、パワー・ハラスメントに当たるものと認定した。

- ・取引先の前で、職員 A を「ジジイ」、職員 B を「偏差値 40」と、他の職員を「おばさん」「ばか」「小学生以下」と呼び、職員の名誉を毀損又は職員を侮辱した行為
- ・職員 A を、平成 29 年 2 月頃に至る前から殊更無視した行為
- ・職員 A に、「無能で非常識なお馬鹿さんへ 着いたのか着いてないのか？そういう報告をしないのは、背任です」とのメールを送信し、過度に叱責した行為
- ・職員 A に、「誰が選んだこのコピー ボケが！！ 遅くて使えん」と、事務担当に、「マジックくらい買っとけ！！《役立たず》」と、威圧的で感情に走りすぎた貼り紙をした行為

なお、報道にハサミを投げつけたとあった件については、関係者から聞き取りを行った結果、そのような事実は認められない。

平成30年6月21日
山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 下水処理水を利用した水稻栽培研究で2度目の技術開発賞 ～土木学会東北支部から近年3年で2回目の受賞～

平成30年度公益財団法人土木学会東北支部総会において、渡部徹教授（水環境工学）が平成29年度技術開発賞を受賞しました。渡部教授は、平成27年度の同賞（平成28年5月受賞）に続き2度目の受賞です。

研究題目：下水処理水を利用した酒米栽培システムにおける玄米品質の評価

2. 農学部で「農場市」がスタートします！

山形大学農学部では、6月28日（木）から鶴岡キャンパス内の特設会場にて、附属農場で生産された採りたての農作物・加工品の販売を開始します。6月から12月初め頃まで、毎週木曜日の正午から鶴岡キャンパス正門近くのガレージで販売。

日 時：平成30年6月28日（木）～ 毎週木曜日 12：00～13：00

（品物がなくなり次第終了とさせていただきます）

場 所：山形大学農学部キャンパス内（旧国道7号線沿いの特設会場）

平成30年（2018年）6月21日

下水処理水を利用した水稻栽培研究で2度目の技術開発賞 ～土木学会東北支部から近年3年で2回目の受賞～

【本件のポイント】

- 下水処理水を灌漑することで、酒米に一般的に求められる品質を満たす上に、醸造工程に重要な影響を及ぼすカリウムの含有量が高い米を栽培できることを明らかにした。
- 酒米は主食用米と同程度かそれ以上の価格で取引されることから注目度が高く、本学でこれまで取り組んできた飼料用米の栽培に加えて、下水処理水を用いた水稻栽培の可能性を広げる成果である。
- 隣県秋田の研究グループとの共同研究の成果であり、今後、東北の他県そして全国を巻き込んだ共同研究のネットワークに広がるのが期待される。



【概要】

平成30年度公益財団法人土木学会東北支部総会において、渡部徹教授（水環境工学）が平成29年度技術開発賞を受賞しました。

この賞は、土木工学に関して優れた技術開発や研究を行った技術者や研究者を表彰するもので、独自の創意工夫によって土木技術の発展に大いに貢献すると認められた研究成果が対象となります。

受賞対象となった研究題目は「下水処理水を利用した酒米栽培システムにおける玄米品質の評価」で、渡部教授が長年取り組んでいる下水処理水を用いた水稻栽培技術を酒米栽培に応用した、秋田工業高等専門学校との共同研究の成果に対する受賞となります。

渡部教授は2年前にも、研究題目「下水処理水の連続灌漑による飼料用米栽培」で同賞を受賞しています。最近3年間で2回目の受賞という事実からも、この技術に対する注目度や評価が高いことが伺えます。

【背景】

下水道資源（下水処理水、汚泥コンポスト、消化ガス、熱など）を農業に有効利用しようとする試み（「ビストロ下水道」と呼ばれています）が全国的に展開されている中で、渡部教授らのグループでは、鶴岡市、JA鶴岡、民間企業との共同研究で、下水処理水を利用した飼料用米栽培に関する研究を行ってきました。近年では、消化ガス発電の廃熱を利用したハウス栽培や、汚泥コンポストを利用した野菜等の栽培にも挑戦しており、上記「ビストロ下水道」の先端的な都市として注目を集めています。

昨年度からは、秋田工業高等専門学校のグループが、渡部教授らの研究成果を応用する形で、下水処理水を利用した酒米栽培に関する研究を開始しました。同高等専門学校と本学の共同研究は本年度も継続しております。

【研究手法・研究成果】

秋田市内の農業集落排水施設の敷地内に設置したパイロットプラント（上記写真）で、下水処理水を灌漑することで酒造好適米（秋田酒こまち）の栽培試験を行いました。その結果、収穫された玄米は、酒米に一般的に求められる品質を満たす上に、醸造工程に重要な影響を及ぼすカリウムの含有量が高いことを明らかにしました。

【今後の展望】

渡部教授らのグループは「下水処理水を利用した飼料用米栽培に関する研究」で、2年前にも同賞を受賞しました。今回はそれを発展させた研究で、しかも鶴岡市を離れて隣県秋田での取り組みが高く評価されました。この受賞を励みに、これからも東北の他県そして全国へと、共同研究のネットワークを広げていく予定です。

お問い合わせ

学術研究院教授（水環境工学） 渡部 徹

TEL 0235-28-2907 メール to-ru@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

平成30年（2018年）6月21日

農学部で「農場市」がスタートします！

【本件のポイント】

- 6月28日（木）から、農学部の学生・職員らが実習農場である農学部附属やまがたフィールド科学センター高坂農場で育てた農産加工品の販売を開始。今年で10年目。
- 農学部の活動を広く周知する機会
- 生産から販売までを学生自らが体験



【概要】

山形大学農学部では、6月28日（木）から鶴岡キャンパス内の特設会場にて、附属農場で生産された採りたての農作物・加工品の販売を開始します。6月から12月初め頃まで、毎週木曜日の正午から鶴岡キャンパス正門近くのガレージで販売。商品がなくなり次第終了となります。

農学部の活動を広く周知し、生産から販売まで学生が体験することを目的に毎年期間限定で開催しており、今年で10年目。完熟トマト、枝豆、在来野菜、リンゴといった新鮮な農産物のほか、農場産のリンゴやブルーベリーを加工して作ったジュースやジャム、学生が実習で栽培したお米など様々な品目を販売します。

また本年は、寄附講座（食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座）による加工品も販売する予定です。

【販売物】

完熟トマト、枝豆、在来野菜、リンゴといった新鮮な農産物のほか、農場産のリンゴやブルーベリーを加工して作ったジュースやジャム、学生が実習で栽培したお米など。寄附講座（食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座）による加工品も販売予定。

【日時・場所】

*日時：平成30年6月28日（木）～ 毎週木曜日 12:00～13:00

（品物がなくなり次第終了とさせていただきます）

*場所：山形大学農学部キャンパス内（旧国道7号線沿いの特設会場）



▲昨年のポスター



お問い合わせ

鶴岡キャンパス事務室（附属施設担当）

TEL 0235-24-2278 メール nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp